

「将来は外科医に」

徳大児童ら模擬手術体験

子どもたちに医療に興味を持ってもらおうと、徳島大学は20日、同医学部の医療教育開発センターで「徳島キッズセミナー」を開き、小学4年～中学2年の40人が模擬手術などを体験した。

自動縫合器や超音波検査器、胃・大腸カメラなど最新の医療器具が用意され、子どもたちは医師や学生らに操作方法を教わりながら挑戦。外科手

術シミュレーション装置「ラップメンター」のコーナーでは、画面を見ながら電気メスで体内の臓器を切るなど、複雑な操作に悪戦苦闘していた。

胆のう摘出の模擬手術を体験した那賀川中1年の椋下美里さん(13)は「思ってた以上に手術は難しかった。勉強を頑張つて将来、外科医になりたい」と目を輝かせた。

(矢田諭史)



シミュレーション装置を使って模擬手術に挑戦する中学生(右から2人目)＝徳島大学医学部